2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月12日

上 場 会 社 名　　株式会社ガイアックス　　上場取引所　　名
コ ー ド 番 号　　3775　　URL　https://www.gaiax.co.jp
代　　表　　者　（役職名）　代表執行役社長　　（氏名）　上田　祐司
問合せ先責任者　（役職名）　執行役　　（氏名）　野澤　直人　　TEL　03-5759-0300
配当支払開始予定日　　―
決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	2,515	△2.7	73	△39.7	89	△40.3	49	△56.7
2025年12月期第３四半期	2,584	0.8	121	△71.5	149	△66.6	114	△74.7

（注）包括利益　2026年12月期第３四半期　　61百万円（　29.1%）　2025年12月期第３四半期　　47百万円（△88.3%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
2026年12月期第３四半期	9.73	―
2025年12月期第３四半期	22.43	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	2,191	1,303	58.5
2025年12月期	2,303	1,291	55.4

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　1,282百万円　　2025年12月期　1,275百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
2025年12月期	―	0.00	―	5.00	5.00
2026年12月期	―	0.00	―		
2026年12月期(予想)				5.00	5.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	3,300	△5.7	0～50	△100.0～△80.0	0～50	△100.0～△77.3	△30～20	-	△5.89～3.93

（注１）　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：　有

新規　　１社（社名）株式会社kokodear　　、除外　　−社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	5,337,452株	2025年12月期	5,337,452株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	298,842株	2025年12月期	234,742株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	5,093,949株	2025年12月期３Ｑ	5,102,710株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.３「（３）連結業績予想などの将来情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
（四半期連結損益計算書） …… 6
（四半期連結包括利益計算書） …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が継続するなかで、緩やかな回復基調を維持いたしました。一方で、中東情勢の緊迫化や米国の通商政策の動向、金融資本市場の変動等により、先行きは不透明な状況が続いております。こうした中、政府は官民投資やAI・先端技術領域の研究開発を推進しております。このような経営環境のもと、当社グループが注力するソーシャルメディア、スタートアップ支援の各領域におきましては、引き続き事業機会が見込まれる状況にあります。ソーシャルメディア領域では、縦型動画・ショート動画の需要が高まり、生成AIによる広告クリエイティブの高度化が進むなか、子会社の株式会社CREAVEにおいて、放送局や配信プラットフォーム事業者等からのショートドラマ制作の受託が拡大いたしました。加えて、当第３四半期連結会計期間には、生成AI広告プラットフォームを展開する米国Omneky Inc.へ出資いたしました。また、HR領域では、雇用の流動化が進み、人材紹介市場は拡大を続けております。その中で、当社は、株式会社Matkaに加え、2026年７月に連結子会社化した株式会社kokodearのブランディング・クリエイティブ制作の知見を融合させて、採用ブランディング支援を中心としたHR×マーケティング分野の事業拡大に取り組んでおります。

スタートアップ支援領域では、政府の支援方針を追い風に、自治体・教育機関等と連携した起業家育成やアクセラレーション支援の引き合いが継続しております。

当第３四半期連結累計期間の売上高につきましては、ソーシャルメディアサービス事業において、企業向けSNSマーケティング支援が堅調に推移したほか、子会社の株式会社CREAVEにおける前年同期比でのショートドラマ制作の受託拡大、ならびに前年同期には連結していなかった株式会社Matka及び株式会社kokodearの業績の取り込みが増収に寄与いたしました。

インキュベーション事業におきましては、営業投資有価証券の売却が前年同期に比べ少額にとどまったことに加え、自治体等からの受託売上が前年同期を下回りました。これらにより、売上高全体としては前年同期比で減収となりました。

この結果、売上高は2,515,546千円(前年同期比2.7%減)、営業利益は73,165千円(前年同期比39.7%減)、経常利益は89,083千円(前年同期比40.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は49,582千円(前年同期比56.7%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(ソーシャルメディアサービス事業)

ソーシャルメディアサービス事業は、企業のSNSやコミュニティに関わるマーケティングを戦略から運用まで一気通貫で総合的に支援を行う事業です。Facebook、X、Instagram、TikTok、LINE公式の運用から、35万人超の登録クリエイターを活かしたマーケティング支援、ストックフォトサービスを提供しています。また、Webマーケティング領域の支援として、Webサイト及びシステム、AWSインフラの構築・運用を行っています。近年は、急速に普及するショートドラマを受託制作するとともに、独自IPの育成・拡大にも取り組んでいます。

当第３四半期連結累計期間におきましては、企業のSNSマーケティング支援が引き続き堅調に推移したほか、AWSインフラの構築・運用において既存顧客からの受注が増加いたしました。注力しているショートドラマ領域では、株式会社CREAVEにおいて、株式会社テレビ東京との共同IPをはじめ、放送局や配信プラットフォーム事業者、広告代理店等からのショートドラマ制作の受託が前年同期に比べ拡大いたしました。また、2026年７月に連結子会社化した株式会社kokodearの業績を当第３四半期連結会計期間より取り込んでおります。利益面では、HR領域における体制強化に伴う人件費やAWS利用料の増加があったものの、株式会社CREAVEにおけるショートドラマ事業の収益化の進展に加え、株式会社Matka及び株式会社kokodearの連結子会社化により、前年同期を大きく上回りました。

この結果、売上高は1,917,510千円(前年同期比11.2%増)、セグメント利益は220,104千円(前年同期比56.3%増)となりました。

（インキュベーション事業）

インキュベーション事業は、投資先企業の株式を保有し、事業育成・成長支援などのハンズオン支援を行う「グループ外インキュベーション」と、「グループ内インキュベーション」で構成されております。グループ内インキュベーションにおきましては、これまでのスタートアップ投資で培った知見・実績を活かし、地方自治体をはじめとする外部団体より、起業家育成プログラムやアクセラレーション事業を受託しております。このほか、自律分散型組織「DAO」構築支援の提供、新規ビジネスの開拓等を行っております。

当第３四半期連結累計期間におきましては、東京都をはじめとする自治体や公的機関からのスタートアップ支援・起業家育成関連の受託が継続いたしました。一方で、営業投資有価証券の売却が前年同期に比べ少額にとどまったことに加え、自治体等からの受託売上が前年同期を下回ったこと等により、売上高としては前年同期比で減収となりました。利益面におきましては、主に営業投資有価証券の売却益の減少により、前年同期を下回る結果となりました。

この結果、売上高は599,131千円（前年同期比30.8％減）、セグメント利益は96,730千円（前年同期比63.7％減）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて7.3％減少し、2,006,791千円となりました。これは主に営業投資有価証券が72,794千円、仕掛品が27,771千円増加したこと、現金及び預金が248,266千円、受取手形及び売掛金が17,928千円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて32.6％増加し、184,296千円となりました。これは主に株式会社kokodearの株式取得等によりのれんが52,557千円増加したこと、長期貸付金が5,666千円、ソフトウエアが4,907千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて4.9％減少し、2,191,087千円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて11.9％減少し、542,235千円となりました。これは主に前受金が21,267千円、未払法人税等が11,714千円、支払手形及び買掛金が11,052千円増加したこと、預り金が84,100千円、未払費用が11,580千円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて12.8％減少し、345,640千円となりました。これは主に長期借入金が56,192千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて12.2％減少し、887,876千円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.9％増加し、1,303,211千円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が49,582千円、その他有価証券評価差額金が10,344千円増加した一方、自己株式の取得により28,358千円、配当により資本剰余金が25,513千円減少したことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年２月13日に公表いたしました「2026年12月期通期連結業績予想」を修正しております。詳細につきましては、本日（2026年11月12日）公表の「2026年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

今後、連結業績予想に修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,149,980	901,713
受取手形及び売掛金	359,375	341,447
仕掛品	226,958	254,729
営業投資有価証券	350,127	422,921
その他	87,213	91,470
貸倒引当金	△9,348	△5,491
流動資産合計	2,164,306	2,006,791
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,285	6,864
工具、器具及び備品（純額）	14,258	14,558
土地	4,091	4,091
その他（純額）	0	0
有形固定資産合計	25,634	25,514
無形固定資産		
ソフトウエア	25,372	20,465
のれん	25,749	78,307
無形固定資産合計	51,122	98,772
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,821	3,987
長期貸付金	170,094	164,427
繰延税金資産	855	855
その他	32,199	38,730
貸倒引当金	△145,725	△147,991
投資その他の資産合計	62,245	60,009
固定資産合計	139,002	184,296
資産合計	2,303,309	2,191,087

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	90,818	101,871
１年内返済予定の長期借入金	90,336	92,376
未払金	111,758	105,009
未払費用	110,944	99,363
預り金	94,813	10,713
未払法人税等	24,638	36,352
前受金	38,469	59,737
その他	53,495	36,811
流動負債合計	615,275	542,235
固定負債		
長期借入金	320,130	263,938
繰延税金負債	76,183	81,702
固定負債合計	396,313	345,640
負債合計	1,011,588	887,876
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	1,370,929	1,345,416
利益剰余金	△211,159	△161,576
自己株式	△68,400	△96,759
株主資本合計	1,101,369	1,097,080
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	174,626	184,970
その他の包括利益累計額合計	174,626	184,970
新株予約権	11,466	9,196
非支配株主持分	4,257	11,962
純資産合計	1,291,720	1,303,211
負債純資産合計	2,303,309	2,191,087

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	2,584,246	2,515,546
売上原価	1,061,411	1,068,317
売上総利益	1,522,835	1,447,229
販売費及び一般管理費	1,401,424	1,374,063
営業利益	121,411	73,165
営業外収益		
受取利息	3,623	5,450
助成金収入	6,196	6,668
貸倒引当金戻入額	14,832	4,125
キャッシュバック収入	4,554	2,254
その他	1,429	1,654
営業外収益合計	30,637	20,152
営業外費用		
支払利息	2,799	4,157
為替差損	－	39
その他	85	38
営業外費用合計	2,885	4,235
経常利益	149,162	89,083
特別利益		
持分変動利益	－	248
新株予約権戻入益	567	7,087
特別利益合計	567	7,336
事業譲渡損	－	2,978
特別損失合計	－	2,978
税金等調整前四半期純利益	149,729	93,441
法人税、住民税及び事業税	32,490	42,030
法人税等合計	32,490	42,030
四半期純利益	117,239	51,411
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,786	1,828
親会社株主に帰属する四半期純利益	114,453	49,582

（四半期連結包括利益計算書）

（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益	117,239	51,411
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△69,410	10,344
その他の包括利益合計	△69,410	10,344
四半期包括利益	47,829	61,755
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	45,042	59,926
非支配株主に係る四半期包括利益	2,786	1,828

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

１．配当金支払額

（決議）	株式の種類	配当金の総額（千円）	１株当たり配当額（円）	基準日	効力発生日	配当の減資
2026年２月13日取締役会	普通株式	25,513	5.00	2025年12月31日	2026年３月30日	その他資本剰余金

２．基準日が当第３四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第３四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

３．株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	ソーシャルメディアサービス事業	インキュベーション事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	1,723,197	861,048	2,584,246	－	2,584,246
外部顧客への売上高	1,723,197	861,048	2,584,246	－	2,584,246
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,113	4,446	5,560	△5,560	－
計	1,724,311	865,495	2,589,806	△5,560	2,584,246
セグメント利益	140,845	266,251	407,097	△285,685	121,411

（注）１．セグメント利益の調整額△285,685千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　2026年１月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	ソーシャルメディアサービス事業	インキュベーション事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	1,916,904	598,641	2,515,546	－	2,515,546
外部顧客への売上高	1,916,904	598,641	2,515,546	－	2,515,546
セグメント間の内部売上高又は振替高	605	489	1,095	△1,095	－
計	1,917,510	599,131	2,516,642	△1,095	2,515,546
セグメント利益	220,104	96,730	316,835	△243,669	73,165

（注）１．セグメント利益の調整額△243,669千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第３四半期連結会計期間において、株式会社kokodearの株式を取得し連結子会社化いたしました。これによりソーシャルメディア事業において、のれんを34,476千円計上しております。

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び前第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）
減価償却費	8,790千円	10,402千円
のれんの償却額	9,150千円	9,919千円